

特定健診で、年に1度の健康チェック！

問い合わせ

保健医療課健康支援室

☎53-2111 (内線2440、2443)

記事ID

0055021



市の高血圧の状況

高血圧は、自覚症状が無いまま進行し、状態が悪化してから気付くことが多い病気です。また、脳血管疾患（脳梗塞やクモ膜下出血など）や心疾患（心筋梗塞や狭心症など）、慢性腎臓病などの病気を引き起こす要因の一つでもあります。

市の高血圧に起因する脳血管疾患や虚血性心疾患の平成24～28年の年齢調整死亡率（人口10万対の率）は県平均よりも高くなっています。そして、介護保険の新規認定者の申請理由でも高血圧に起因する疾患が15・7%と、6人に1人の割合です。つまり、高血圧を予防することは、死亡率の低下や介護予防にもつながります。

高血圧の状態になっていないかなど、ご自身の身体の状態を知るためには、年に1度の特定健診を受けることが大切です。

市の特定健診の状況

令和元年度の特定健診受診者は、4381人（受診率43・6%）となっており、年々増加傾向ではありますが、国の示す目標値である60%には達していない状況です（表1）。

また、特定健診受診者のうち、高血圧と診断される「収縮期血圧140以上、または、拡張期血圧90以上」だった人は、1146人（26・2%）で、年々増加している状況です（表2）。

表1.特定健診受診率

	対象者	受診者	受診率
平成29年度	10,635人	4,404人	41.4%
平成30年度	10,254人	4,397人	42.9%
令和元年度	10,041人	4,381人	43.6%

健診を受けましょう

生活習慣病などの基礎疾患のある人は、新型コロナウイルス感染症に感染すると、重症化する危険性があると言われていきます。定期的に健診を受け、生活習慣を振り返り、発症を予防することや早期発見と適切な治療を受けることが大切です。

市の国民健康保険加入者（40～74歳）や後期高齢者医療保険加入者は、翌年1月末までお近くの医療機関で健診を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

毎年健診を受けて、身体からのサインを見逃さないようにしましょう。



表2.特定健診受診者のうち高血圧該当者

	高血圧該当	該当率
平成30年度	1,100人	25.0%
令和元年度	1,146人	26.2%